

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



新年おめでとうございます。毎年、年齢は重ねても若いときと同じ失敗の繰り返し。そこで今年は「考え方や行動を変えて、失敗を生かすこと」「他人の失敗でも自分の成長に役立てる」「子どもの振り見てわが振り直す」の3つを抱負に。皆さんの抱負は？【空】

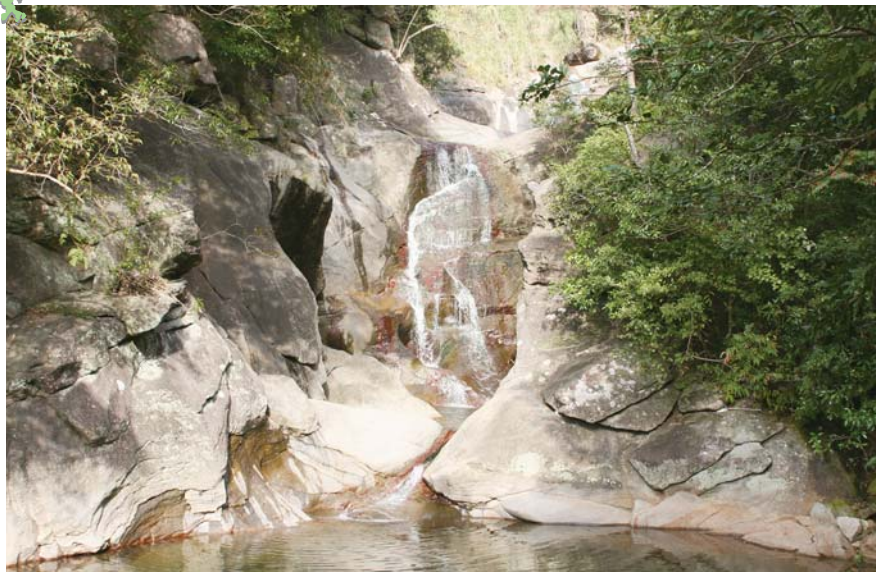
取材に行ったときのこと。後ろから「凡」と呼ぶ声が聞こえました。「だっか、おっば呼び捨てにすつとは」と振り向くと、中学時代の恩師でした。時代劇の「〇代官」似の眼光鋭い大きな先生です。忘年会で当時の思い出話で盛り上がり、バツサリ斬られました。【凡】

広報担当になって、ついに7回目のお正月を迎えました。今年は、十二支の1番目に数えられる子年ねねに加え、平成20年という区切りのいい年です。30歳を過ぎ、何か新たなことを始めるのにいいきっかけになりそうな気がします。個人的にも、仕事上でも…。【松】

子どものころは、親せき一同が集まって、お年玉をもらったり、すごろくやあなあげ、羽子板などで遊んだりして過ごす『お正月』が大好きで、毎年、心待ちにしていました。最近は「のんびり寝正月が1番」と思うように…。おとな？になった証拠でしょうか。【村】



レンズの奥に見える 宝島のキャンパス



なるかわ
「水の神」に見守られる“鳴川”

VoL.23
倉岳町棚底

おおさくやま
龍ヶ岳を水源に、大作山を流れ棚底湾に注ぐ鳴川は、川の流れの音が流れ込む湾の対岸まで聞こえたため、“鳴川”と名づけられたといわれています。川の中流には滝があり、滝の上には観音様が祭られています。この観音様はその昔、干ばつで川の水がかれたときに、「水の神」と思われる火の玉が消えた場所に建立されたとのいわれがあり、その後は川の水がかれたことはないということです。



天草来島100周年
探訪・五足の靴

「美しい天草の風景」

大江天主堂のパアテルさん（ガルニエ神父）と会った五足の靴一行は、大江の港から汽船に乗って牛深へ向かいました。牛深では、翌朝に際崎（三角）へ行くため、船着場がすぐ近く

にある今津屋いまづやに宿泊。午前3時の乗船予定でしたが、宿の人がちょうど3時に起こしたあげく、「あわてなければ間に合いません」と言われ、大慌てで船着場へ行くことになりました。



▲明治末期ごろの牛深の風景。○印内は今津屋（現在の牛深総合センター付近から南西方面の眺め）

際崎へ向かう途中、船上から見た天草について、紀行文には次のように記されています。「山のたたずまい、静かな海の様子が瀬戸内海に似てしかも大に勝る所がある」と。美しい天草を目に焼きつけた5人は、その後も旅を続けます。